

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

城 和貴^{1,a)}

本論文誌の母体である MPS は、今年 9 月にお台場で開催される研究会で 100 回目となります。TOM はもちろん、MPS も設立時から関わってきた者として万感の思いがあります。MPS 設立後すぐに研究会主体の論文誌を作ろうという動きが出てきて、設立後すぐに発表件数が目に見えて落ち込んできた MPS としては、この研究会論文誌（後の TOM）に活路を開くべしと、他の活発に研究発表の行われている研究会にこそと混じって研究会論文誌の立候補をしたのでした。MPS は何をとち狂っているのか、という他の研究会からの心配をよそに、TOM は着実に MPS の研究領域を広げ、ついに MPS100 までこぎつけたわけです。この間、実に多くの委員の皆様にご活躍いただき、研究領域の狭間で発表の機会が少ない研究を TOM に取り込むことに成功してきました。今後は MPS200 を目指して、更なる新領域の取り込みと既存領域の充実に委員一同がんばっていかうと思っています。

さて、ずいぶん遅くなってしまいましたが、2014 年度最初の TOM の発刊です。今号では、2013 年 9 月開催の MPS95（熊本県立大）、2013 年 12 月開催の MPS96（東工大）、2014 年 3 月開催の MPS97（島根）に投稿されて採録された論文、いずれもオリジナル論文の 7 編を掲載しています。TOM39 の採録論文数/投稿論文数は 7/15 で、採択率は 47% となっており、担当編集委員は安藤晋、加藤毅、佐藤彰洋、柴田直樹、鈴木智也、高野茂、滝沢泰久、田口亮、但馬康宏、中島智晴、藤本典幸、吉川大弘、吉田哲也、吉田稔（敬称略）となっています。

TOM に掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまでも慢性的に編集委員が不足している状態です。TOM では編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方は城 (joe@ics.nara-wu.ac.jp) までご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。な

お、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべて WWW ページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>) よりたどることができますので、MPS 研究会および論文誌 TOM に関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
奈良女子大学
Nara Women's University, Nara 630-8506, Japan

a) joe@ics.nara-wu.ac.jp